













メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声

詳細はこちら **京都府視覚障害者協会 HP** http://kyosikyo.sakura.ne.jp/mi.html





絶 賛 ♥一配信中!

メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声

詳細はこちら **京都府視覚障害者協会 HP** http://kyosikyo.sakura.ne.jp/mi.html







メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声

詳細はこちら 京都府視覚障害者協会 HP http://kyosikyo.sakura.ne.jp/mi.html





絶 賛 ♥一配 信 中!

メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声

詳細はこちら 京都府視覚障害者協会 HP http://kyosikyo.sakura.ne.jp/mi.html







メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声

詳細はこちら 京都府視覚障害者協会 HP http://kyosikyo.sakura.ne.jp/mi.html







メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声

詳細はこちら **京都府視覚障害者協会 HP** http://kyosikyo.sakura.ne.jp/mi.html







メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声

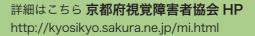
詳細はこちら 京都府視覚障害者協会 HP http://kyosikyo.sakura.ne.jp/mi.html







メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声

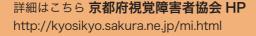








メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声







絶 賛 ♥ 一配 信 中!

メルマガ色鉛筆 読んでみませんか? カラフルな当事者の声

詳細はこちら 京都府視覚障害者協会 HP http://kyosikyo.sakura.ne.jp/mi.html



















目の不自由な人の声色々 色鉛筆

「お手伝いしましょうか」 「どこに行かれますか」 「一人で大丈夫ですか」 ~ から始まるみなさんの手助けが、 不自由に負けない元気に、勇気に、根気に なります。

目の不自由な人の声色々 色鉛筆

混雑する駅のホームに1人、電車に乗ろうとしてたとき、電車の中から「ちょっと、ちょっと、あの人見たって」と大声で駅員さんを呼んでくれた人がいた。「ちゃんと見たってや」

目の不自由な人の声色々 色鉛筆

バスに乗り込み、手すりはないかと空中探索 そのとき、手を優しく握られて 「Sit down please」の言葉と共に座席へ エスコート。 「ありがとう」とぺこり、 スマートに「Thank you」と言えない 自分に苦笑。

目の不自由な人の声色々 色鉛筆

道がわからなくなったときは、人にたずねたいのですが、歩行者はゼロ。 そこでやむを得ず、走ってくる自転車の人に声をかけます。 すると、ちゃんとブレーキをかけて止まってくれるのです。

目の不自由な人の声色々 色鉛筆

スポーツはマラソンをしています。 サークルに誘われたときはあまり気のりが しませんでした。

でも、伴奏者の人と息を合わせて走ったら 気持ちよかったのです。

その後みんなで飲みに行くのも最高ですよ。

目の不自由な人の声色々 色鉛筆

スポーツは苦手ですが、最近、ダンスを始めました。 生まれつき目が不自由だと、ダンスも見

生まれつき目が不自由だと、ダンスも見たことがありません。

踊るのはチャレンジです。

そうやって世界が広がって行きます。

目の不自由な人の声色々 色鉛筆

文字が見えにくい私は、自然と英語に興味が 向きました。

英語には漢字がありませんから。

でも辞書には大苦戦します。

少しでも負担を減らすために単語を覚える ことにしました。

毎日、少しずつ、今は1万語を超えました。

目の不自由な人の声色々 色鉛筆

あるとき気づいたのですが、 「見えない=出来ない」じゃなくて、 「見えない=工夫する」なんですよね。 物事は一方向からだけで捉えていると 考えは固まって、心を頑なに、盲目にします。

目の不自由な人の声色々 色鉛筆

妻と僕は、僕が見えてた頃と同じように 生活している。

お風呂掃除とゴミ出しが僕の役目である ことに変わりはない。

洗濯機のボタンには点字が付いている。 「私が忙しい時は、できるからいいよね」

目の不自由な人の声色々 色鉛筆

私はお友達や家族と出かけます。

どこにいても同じ景色だけど、その場にいて 感じること、一緒に時間を分かち合うことが 大切だと思います。

お友達も家族もきっと、私に喜びを感じて ほしいと思ってくれてます。







